

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

|               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名           | 地域ブランド「市田柿」の発信による地域活性化           |
| 事業主体<br>(連絡先) | 市田柿活性化推進協議会<br>飯田市東東281          |
| 事業区分          | (6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり      |
| 事業タイプ         | ソフト                              |
| 総事業費          | 1,487,200 円 (うち支援金: 1,189,000 円) |

#### 事業内容

飯田・下伊那地域の特産品である「市田柿」は、その名称で販売が始まってから、100年の節目を迎えました。次の100年に向けて、市田柿の消費拡大、地域文化の継承のため、「市田柿」地域ブランドを全国へ発信すべく、PR活動・食育活動を実施しました。

- ・市田柿100年記念ポスターの掲示：全国市田柿販売店舗 市場等
- ・市田柿ラッピングバスの運行：11月～、新宿・名古屋・県内便
- ・市田柿ストーリーブックデザインデータ作成：10月～2月



【市場でのポスター掲示の様子】

#### 事業効果

- ①販売店舗や市場等に「市田柿」100年の記念ポスターを掲示したことで全国に「市田柿」ブランドを発信することができた。  
また、地域内の市田柿関係団体が同じ宣伝資材を活用することで、さらなる消費拡大とPR活動を行うことができた。
- ②ラッピングバスを運行したことで、東京・名古屋方面を中心に「市田柿」の認知度を向上することができた。  
「市田柿」注文の際にラッピングバスを見たとのこともいただいた。
- ③「市田柿」の歴史や栽培加工方法をまとめたストーリーブックのデザインデータを作成したことで、「市田柿」について理解を深めてもらうための食育活動の準備ができた。

#### 【目標・ねらい】

- ①全国に向けた「市田柿」ブランドの発信・PR活動・消費拡大
- ②市田柿の認知度の向上
- ③食育活動の準備

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

- ・飯田下伊那の市田柿関係団体が統一の宣伝資材を使い、全国にPRできた。
- ・市田柿に対するブランドとしての認知度が高まった。

#### 今後の取り組み

今後、継続的に地域ブランドである「市田柿」を発信していくために、地域交流イベントを開催し、「市田柿」に対する理解をさらに深めていただける内容としていく。また、市田柿のさらなる認知度向上のために、ラッピングバスの運行本数を増やして運行を継続する。データを作成したストーリーブックは印刷し、中学校を中心に配布または訪問して食育活動を行う。今後の地域農業の活性化・地域文化の継承のために、食育活動は幅広い年代に対して実施していきたい。

今後、市田柿を全国・世界に発信していくために市田柿の認知度向上、食べ方提案等の認知度向上・消費拡大に向けたPR活動に取り組むとともに、後継者不足解消・消費拡大に向けた食育事業に取り組んでいく。